

令和8年8月1日発行

TAKETA Gikai News

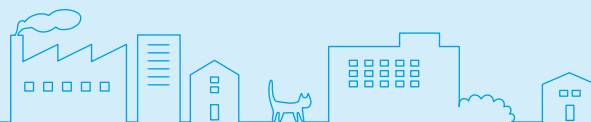


竹田市議会



きよらかに咲く蓮

- 一般質問 2～5
- 第2回定例会 一般会計予算 6
- 第2回定例会 議決結果 6～7
- 所管調査 7



6月5日・8日、7人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。



🎙️ 賀籠六 めぐみ

竹田市民間賃貸住宅建設 促進事業補助金について

Q 制度説明における問題点や課題は。

A 補助額に関する認識の相違が生じた事例があった。フローチャートの検討も含め他自治体の事例も参考にその都度改善をしていく。

Q 集合住宅のごみ定期収集の基準の見直しを図ってはどうか。

A 集合住宅の建設前に事前協議をいただき、地域事情や収集体制を踏まえ、個別に判断する。

Q この事業の今後の進め方は。

A 課題解決のため真剣に改善に取り組む。昼間の人口が多く夜間人口が少なくなるという課題も持っている本市にとって、本事業は、課題解

決に有効な政策と考えている。民間の力をお借りし、今後も様々な移住定住施策に取り組む。

不登校やいきしぶりについて

Q 支援状況は。

A 連続3日または断続で5日以上欠席した児童・生徒の情報共有と今後の対策について検討する本市独自のクローバー会議を開催している。対象児童・生徒は38人。

Q 不登校児童・生徒への理解を市内事業所へも広げるべきでは。

A 教育支援センターサフランのHPに支援制度の内容を掲載する。商工振興課では、HPや商工団体等を通じた周知啓発に努める。

用語解説

※クローバー会議…教育委員会・社会福祉協議会等が参加し、それぞれの専門的知見を活かし、不登校の対応を協議している。



なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



🎙️ 後藤 建一

カスタマーハラスメントについて

Q マスコミなどでカスタマーハラスメントの事案が取り上げられている。市役所の現状は。

A 令和7年度の職員向けのアンケートで、回答者204人のうち、過去3年間にカスハラを受けた、同僚が受けているのを見聞きしたと答えたのは46%。内容は繰り返し執拗な言動が35件。大声や反社会的なものとの繋がりをほのめかす威圧的な言動が28件、侮辱、暴言などの精神的な攻撃が21件である。職員の心身への影響として、怒り、不満や不安が46件で通院や服薬をしたという職員もいた。

Q カスハラ課題に対する対策はどう行うのか。

A 本年4月からはカスタマーハラスメント対応

マニュアルを作成し、全職員向けに周知をした。暴力的な状況や長時間の居座りなど職員で対応できない場合は警察の協力をいただくことになる。

久住高原農業高校学生寮について

Q 学生寮で提供される食事について、令和5年11月から高校生が必要とする標準的なカロリー量等に変更を行っているが、現状は。

A 令和6年度から、2,400kcalから2,800kcalへ増量した。提供する品数を増やし、あわせて食事内容および提供方法の見直しを行っている。給食に関するアンケートも実施した。



久住高原農業高校学生寮夕食

その他質問

- ・特定外来生物オオキンケイギクの根絶について
- ・防犯対策について



🎙️ 副田 富雄

放置竹林の現状と対策について

Q 放置竹林の現状と対策について。

A 令和7年時点の本市の竹林面積は、1,030haに達している。本市では、竹粉碎機の貸し出しの事業を行い、住民主体の里山保全活動の活性化につなげている。民間の機動力や、専門知識を生かすために、NPO法人など、市内2団体に對して業務を委託している。

Q 対策事業に対して補助制度はあるか。

A 大分県優良竹林化利活用推進事業という県単の事業がある。補助対象は森林組合、農協や法人など。主要観光地周辺等の荒廃竹林の伐採整理やタケノコ産地としての持続的管理が見込め

る荒廃竹林を再生させるということが事業目的である。補助率は優良竹林化につき標準経費の4分の3以内。



放置竹林

市民後見人制度について

Q 市民後見人制度の活用促進と成年後見人等送付先住所変更の一括手続きについて。

A 手続きの漏れを防ぎ業務の効率化を図るためにも一括で手続きが行えるよう、窓口業務のDX化も含めて検討を始めている。

用語解説

※DX化…デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を活用して会社やビジネスの仕組みそのものを変えること。

その他質問

- ・障がい者への合理的配慮の提供について



🎙️ 山村 英治

キリシタンの歴史と その遺産について

Q キリシタンの歴史や遺跡を文化遺産として竹田市はどのように展開していくのか。

A 竹田市文化財保存活用地域計画の中で、キリスト教の布教時期、禁教期の実態については、いまだ解明されていない点が多く、学術的検証がされていないまま、伝説や伝承、先行研究に依拠した情報発信がされていることを課題としている。このため引き続き調査研究を着実に進めるとともに、その成果を情報発信し市民と共有していく。また、キリシタン関連遺跡などの活用について、歴史文化館ではサンチャゴの鐘を中心にキリシタン関連史料を分かりやすく説明している。

指定文化財であるキリシタン関連遺跡に説明板を設置するなどして、教育、観光の資源とし

て活用を図っている。また、平成24年度からは、竹田市を含む県内6市においてキリシタン南蛮文化交流協定を締結し、教育や歴史文化、観光などにおいて連携を進めている。



サンチャゴの鐘

その他 質問

・竹田市の農畜産業に対する戦略的な取組について



🎙️ 佐藤 美樹

スクールバスの管理と 活用について

Q 現在、市所有のスクールバスは何台あるか。また年間の維持管理費はいくらか。

A 市所有のスクールバスは15台、このうち2台は予備車両である。令和7年度の維持管理経費は約1億24万円で、主な内訳は竹田タクシー協会への運行委託料やシステム管理費等である。

Q バスに関する事故が全国で相次いでいる。安全管理の取組は。

A 運行前点検、アルコールチェック、着席確認、置き去り防止システムの導入などに取り組み、安全運行の確保に努めている。

Q 竹田市の高校通学支援に対する考えは。

A 路線バスのゾーン制運賃や学生向けフリー定期券を導入している。

Q 路線バスの減便や保護者の送迎負担が増すなか、高校存続のためにも、中学校スクールバスへの高校生混乗による通学支援を行ってはどうか。

A 学校長の判断で運行時間の変更される場合があり、高校生の安定利用が難しい。また、満席路線もあるため、利用できる高校生とできない高校生が生じるなど、公平性の課題がある。



スクールバス

その他 質問

・鳥獣害対策としてのジビエ活用について
・公用車の管理について



熊野 忠政

大野川上流地区畑地かんがい営農振興計画について

Q 大蘇ダムの受益地内で、産出額を令和11年度目標50億円とした計画であるが、令和5年度～6年度の作付面積、産出額が減少している。原因をどのように分析しているのか。

A 新型コロナウイルスの影響などから、収穫から市場出荷まで請け負う事業者の撤退が相次ぎ、野菜農家は規模拡大を控えたため。

Q 大蘇ダムからのかんがい用水について、給水栓の開栓率が非常に低い。利用推進をさらに強化すべきではないか。

A 受益地は891haで開栓率は14.5%である。露地野菜は雨水に頼った栽培が定着しているが、異常気象が常態化するなか、計画的な生産や出荷を行うためには安定した水の確保が不可欠で

あり、この点を積極的に周知し利用拡大を図る。

大野川上流地区畑地かんがい営農振興計画に係る産出額								
年度	策定(R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標(R11)
作付面積(ha)	953.0	959.7	984.6	1,091.8	1,025.1	1,011.2	1,080.1	1,249.9
産出額(百万円)	2,919	3,176	3,710	4,222	4,033	4,027	4,201	5,018

※R1～R7は推計値、R11は目標

農作物の高温障害対策について

Q 高機能フィルムやドローンにより散布する塗布剤等の遮熱資材は助成対象に入れられないか。

A 現在、助成対象は遮光資材、外気導入機器となっている。今後も、効果的な高温対策の資材など県と協議を重ねていく。



ドローンによる遮熱剤散布

その他
質問

・資機材等の高騰対策について



阿南 智博

竹田市農林業振興計画について

Q 第2次農林業振興計画の達成度と評価は。

A 集落営農組織の設置や担い手の育成については、人口減少や高齢化などを背景として厳しい状況があり、目標値に届いていない項目もある。生産振興の部分では、夏秋野菜や花卉の団地化、耕畜連携の強化が図られた。魅力ある商品づくりでは夏秋トマトやミニトマトが大きく生産量を伸ばした。農業産出額も238億円となり目標の242億円に近づいている。

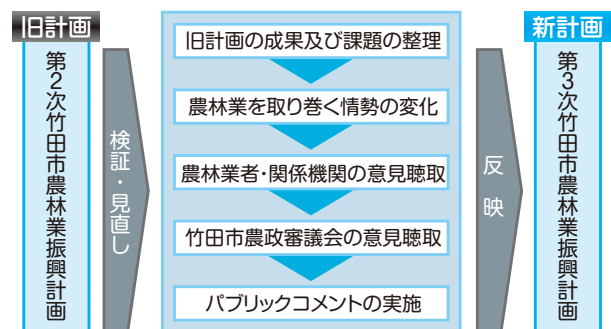
竹田市農林業振興計画



Q 水田活用に関する国の政策も転換されると聞く。本市における主食用米の生産状況は。

A 国は本年の主食用米生産量を711万玄米トンと設定しており、竹田市は計算では1,644haとなる。本年の作付面積は1,703haとなっており、

59haの超過となっている。



第3次竹田市農林業振興計画策定のプロセス

定年延長制度の有効活用について

Q 60歳で役職を降りた職員が引き続き勤務することが想定されるが、その経験値やスキルの有効活用を考えては。

A 定年延長職員が高いスキルを活かして市民のために経験値を還元できるよう勤務環境や処遇を研究する。

その他
質問

・飲用水窓口の一元化について
・市民球場の適正管理について



第2回定例会 令和8年度一般会計補正予算



7,588万3千円増額(総額:207億1,288万3千円)

令和8年第2回定例会・予算特別委員会が6月15日に開催され、付託された令和8年度一般会計補正予算第1号を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

補正予算の概要

歳出

◆総務費

竹田市地域公共交通計画策定調査に伴う地域公共交通活性化協議会補助金 284万8千円

◆民生費

認可外保育施設の認可保育所への移行に伴う、
子どものための教育・保育給付費 5,698万2千円

◆衛生費

清掃センターの設備修繕費 2,035万円

◆農林水産業費

小水力発電施設整備事業費補助金 820万円

◆商工費

長湯温泉療養文化館「御前湯」の今後の方向性を示す
リニューアルアクションプラン作成費 231万円

◆教育費

岡城桜まつり用具整備事業費補助金 250万円

竹田小学校増築事業の物価高騰対応事業費 2,384万4千円

※職員等の給料削減に伴う減額(各費目において計上)

歳入

国庫支出金 5,923万円

県支出金 1,568万7千円

財産収入 1万6千円

繰入金 750万5千円

諸収入 164万5千円

市債 Δ820万円

議決結果

令和8年

第2回定例会

令和8年6月1日～24日

議案等の議決結果

条例案

議案番号	件名	結果
報告第2号	専決処分事項「竹田市税条例の一部改正」について	承認
報告第3号	専決処分事項「竹田市都市計画税条例の一部改正」について	承認
報告第4号	専決処分事項「竹田市税特別措置条例の一部改正」について	承認
報告第5号	専決処分事項「竹田市国民健康保険税条例の一部改正」について	承認
議案第82号	竹田市総合文化ホール設置条例の一部改正について	可決
議案第83号	竹田市コミュニティバス運行条例の一部改正について	可決
議案第84号	竹田市地域コミュニティセンター条例の一部改正について	可決
議案第85号	竹田市水の国のわくわく農園条例の一部改正について	可決
議案第86号	竹田市久住保健センター条例の一部改正について	可決
議案第87号	竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部改正について	可決
議案第88号	竹田市公民館条例の一部改正について	可決
議案第89号	竹田市ドイツ村簡易宿泊施設及びドイツ村温泉条例の一部改正について	可決
議案第90号	竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」条例の一部改正について	可決
議案第91号	竹田市直入B&G海洋センター条例の一部改正について	可決
議案第92号	竹田市都市公園条例の一部改正について	可決
議案第94号	竹田市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	可決

● 予算案

議案番号	件名	結果
議案第59号	令和8年度竹田市一般会計補正予算(第1号)について	可決
議案第60号	令和8年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第61号	令和8年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第62号	令和8年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第63号	令和8年度竹田市簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	可決

● 一般案

議案番号	件名	結果
議案第64号	竹田市固定資産評価員の選任について	同意
議案第65号～67号	竹田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第68号～80号	竹田市農業委員会委員の任命について	同意
議案第81号	竹田市教育委員会委員の任命について	同意
議案第93号	財産の貸付けについて	可決

● 請願・意見書案

議案番号	件名	結果
請願第1号	義務教育費国庫負担率2分の1復元等に関する意見書の提出を求める請願	採択
請願第2号	2026年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書の請願	採択
意見書案第1号	義務教育費国庫負担率2分の1復元等に関する意見書	可決
意見書案第2号	2026年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	可決

■ 賛否一覧表 令和8年第2回定例会(令和8年6月1日～6月24日)

※賛成・反対の双方があった場合又は特別多数議決を要する議案について表示しています。

議案番号・件名	議員名(議席番号順)														審議結果
	中村光三	副田富雄	上島貞子	賀籠六めぐみ	池見傑	熊野忠政	工藤忠孝	阿南智博	後藤建一	本郷敦子	佐藤市蔵	佐藤美樹	山村英治	阿部雅彦	
議案第87号 竹田市立小学校設置条例及び竹田市体育施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

表の見方…○：賛成、－：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。※特別多数議決を要する議案のため、議長も表決に参加

NEW

常任委員会所管事務調査

本紙、第80号から常任委員会が自主的に行う所管事務調査事項をお知らせします。

総務産建常任委員会

【調査日時】令和8年6月18日(木)

【調査テーマ】人口減少対策について

【調査事項】

1. 今後の竹田市の総人口の推移について
 - 移住・定住施策等についての現状と課題
2. 本市の人口減少が与える財政的影響について

【調査結果】閉会中も調査継続する。

社会文教常任委員会

【調査日時】令和8年6月19日(金)

【調査テーマ】合宿誘致等の推進について

【調査事項】

1. 合宿誘致における宿泊について
2. 合宿受入における食事提供体制について
3. 各種スポーツ団体等へのアプローチについて
4. スポーツ関連施設について

【調査結果】閉会中も調査継続する。

たけた市議会だより 第79号(令和8年5月1日発行)に次の誤りがありましたので、訂正しお詫び致します。

8頁 【議決結果】(誤)条例案 → (正)予算案 (誤)予算案 → (正)条例案

11頁 【賛否一覧表】 議案第39号 (誤)佐藤市蔵 ○ → (正)佐藤市蔵 ー
○：賛成
ー：欠席などにより表決に加わっていない。

※正誤の詳細につきましては、竹田市議会HP(たけた市議会だよりページ)に掲載しております。

議員研修

「議員政治倫理・ハラスメント防止等研修」



弁護士で元千葉県流山市市政法務室長の帖佐直美（ちょうさ なおみ）講師（株ぎょうせい所属講師）を招聘し、議員活動におけるSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用上の注意点や社会問題化する「ハラスメント防止の取組」などをテーマに議員政治倫理・ハラスメント防止等研修会を実施しました。

SNSでは、投稿内容が個人情報、名誉毀損、侮辱、反対意見の方への批判等に該当しないかなど、投稿する場合に必要な配慮や法的根拠などについて、事例を踏まえ知見を深めました。

ハラスメント防止の講義では、何気なく放った言動が相手を傷つけるだけでなく、議会全体の信用を大きく損ね、地域社会へ大きな悪影響を与えることを踏まえ、ハラスメント事案や関係法令について学び、認識を新たにしました。



法令順守はもちろんのこと、議員の道徳や倫理観を磨くことは、円滑な議会運営を行ううえで必要不可欠です。

また、議会組織は多様な人材が参画し、住民に開かれた議会運営を展開していく責務を担います。変革著しい社会情勢に順応するための実りある研修となりました。

7月15日(水) 委員会室

議員研修所感 (一部抜粋)

- 議員活動や議会活動が対執行部を含めて、社会的に公平性を欠いたものにならないように十分配慮する。
- 情報発信等の際、読み手がどう受け取るか留意する。
- 名誉毀損、侮辱等については特に注意が必要。
- 写真等には様々な情報（著作権、肖像権、個人情報など）が包含されていることを深く認識する。
- 協議で知り得た内容や、市民からの相談を受けた情報管理には十分に気をつける。
- 馴れ合いの中での言動にもハラスメントは存在する。議員は公の立場であることを忘れずに、相手側の気持ちに配慮し行動する。
- ハラスメント防止措置を講ずることで相手と自分の立場を尊重し合える環境を整えたい。

令和8年第3回(9月)定例会日程のお知らせ

令和8年第3回(9月)定例会の議会日程(予定)をお知らせします。

8月27日(木) 議会運営委員会、全員協議会

9月 1日(火) 本会議(議案の上程、諸報告ほか)
7日(月) 本会議(一般質問) **中継**
8日(火) 本会議(一般質問) **LIVE**
9日(水) 本会議(一般質問)

11日(金) 本会議(質疑、委員会付託ほか) **録画放送**

11日(金) 予算特別委員会
14日(月) 予算特別委員会
17日(木) 決算審査特別委員会
18日(金) 決算審査特別委員会
25日(金) 総務産建常任委員会
28日(月) 社会文教常任委員会
30日(水) 議会運営委員会、全員協議会

30日(水) 本会議(委員長報告・採決ほか) **録画放送**

※会議の日程等は変更になる場合があります。
※その他、議会情報は竹田市議会ホームページをご覧ください。
※生中継、録画放送はたけたケーブルテレビで放送します。



議会運営委員会報告

議会運営委員会の協議、決定事項について報告します。常任委員会・特別委員会の審査報告の拡充について、4月27日に議会改革調査特別委員会より検討依頼があり、審査報告の内容や方法などについて検討、協議を行いました。協議の結果、令和8年第2回定例会から、傍聴者やケーブルテレビを視聴している方々にも委員会の審査内容を分かりやすくお伝えするため、審査議案の内容などを含めた委員長報告とすることで拡充を決定しました。



議会改革調査特別委員会から議会運営委員会へ検討依頼の様子

写真提供者

真田 照幸氏
TERUYUKI SANADA

1948年生まれ
竹田市中尾 在住

Profile

・竹田市美術協会写真部会員

photograph

「市議会だより」についてのご感想をお寄せください。

いただいたご感想を今後の誌面構成等に活かしてまいります。

発行：竹田市議会
編集：竹田市議会だより編集委員会
竹田市大字会々1650番地
TEL：0974-63-4813



竹田市議会

「たけた市議会だより」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。